

スマートインターチェンジ 建設促進

6月11日午前10時45分から開催

主な協議項目

- 平成24年度一般会計補正予算
アクセス道路測量・設計委託 2400万円
- スマートIC建設検討委託 350万円
- スマートIC建設基金積立金 5000万円



Q 今回、測量設計などに2750万円、建設基金への積み立てに5000万円の補正予算が示されたが、地元との協議が一步前進したことでの措置であると理解している。しかし、その前に町長から全体計画の見通しが明確にさ

れることが重要であろう。以前に総事業費は44億円で、そのうち町の負担は3億円程度であるとの予想額が示されたことがあるが、出入口が北側に一本化されたことで、全体構想が大きく変化しているはずである。詳細がはっきりしないままでは協議が難しい。まず、具体的な計画を示すことが重要なのではないか？

総務部長 地元の承認がまだ得られていなかったため、5月の議員全員協議会では補正の説明はしませんでした。国・県の補助金の関係で今年度実施する必要が出たため、補正をお願いしたい。今後の交安協議が終わると詳細な事業費が提示できると思います。

Q 今回の補正によって行われる工業専用地域北側の道路工事はいつ頃ですか。

総務部長 稲刈り後です。来

年度以降、工事に入ります。スマートインターチェンジ本体が完成するまでには、このアクセス道路を完成したいと考えています。

Q スマートインターチェンジの建設費に5千万円を積み立てるが、工費の総額が明らかになっていないのに積み立てるのか。5千万円の根拠は何か。

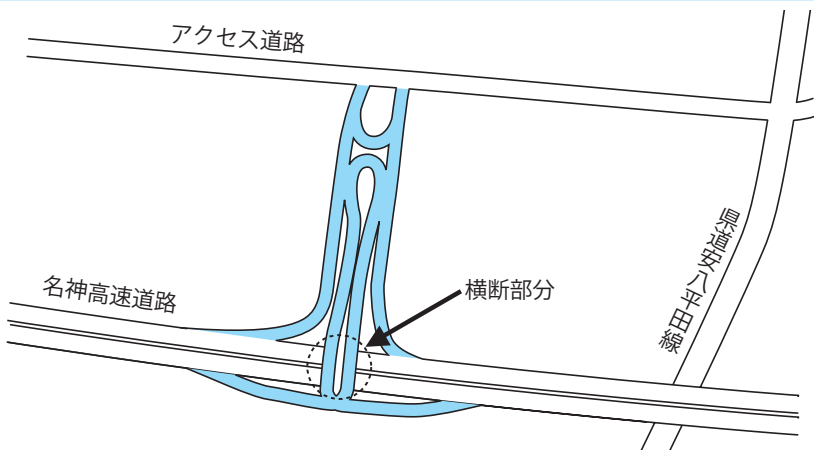
総務部長 前年度の余剰金の中から、積み立てのできる最高額が5千万円です。

Q スマートインターチェンジ地区協議会の進捗状況はどうですか。

総務部長 関係する組織（県警・市町村など）へ協議会再開にあたっての協力をお願いしてきました。これまでどおり協力して頂ける姿勢でした。輪之内町議会へは説明をした段階です。

Q 事業費のうち町負担分は何割ぐらいか。

総務部長 本線の横断部分は工事費用の半分を町が負担します。具体的な金額は、



出入口をインターチェンジ北側に一本化した概要図

ネクスコ(中日本高速道路)と国交省で再度検討していきます。

Q 中地区からの周辺環境整備要望を早く頂いて、対応の見通しを示して欲しい。

町長 早く地域要望をまとめて頂くよう申し入れをします。